

近代日本外交…西洋と東アジア

五百旗頭 薫

二〇一六年度、この題名の通りの授業を行いました。授業概要には以下のように記しました。

「戦後の日本外交は長い間、アメリカとの関係が圧倒的な比重を占めました。しかし冷戦後しばらくしてから、中国の台頭が顕著となり、ロシアもあらたなアクターとして復活しました。韓国との関係も、アメリカの東アジア戦略の中に位置づけて対処することが難しくなりました。こうした多元的な関係は、むしろ戦前外交の中に経験の蓄積があり、成功からも失敗からも学ぶことができます。この講義では、19世紀半ばに西洋列強に対して開国してから、現代政治の骨組みができる戦後初期までを対象として、日本外交の歴史を概観します。」

戦前、特に日清・日露戦争までの日本にとっての東アジアとは、ロシアと中国という、自らを上回る大国に対する譲歩と自己主張の綱渡りを強いられる世界でした。この時代から出発し、現代までを展望するという、クロノロジカルな「比較思想」をしたかったのです。

章立ては下記の通りでした。

- ① オリエンテーション
- ② 鎖国と開国
- ③ 統一国家の形成
- ④ 西南諸戦争
- ⑤ 条約改正とナショナリズム
- ⑥ 日清戦争
- ⑦ 日露戦争
- ⑧ 桂園体制と大陸国家
- ⑨ 第一次世界大戦期の内政と外交
- ⑩ 協調外交と政党内閣
- ⑪ 満州事変後の内政と外交
- ⑫ 日中戦争期の内政と外交
- ⑬ 冷戦Ⅰ…日米同盟の形成

⑭ 冷戦Ⅱ…米中接近

実際には単純な比較はできず、国内政治から社会状況まで、幾層もの文脈の違いを押さえないけません。少し比較の視野が拓けたと思ったら、また新たな文脈の違いが立ちふさがり、それを乗り越えたらまた、といったスタイルで議論を進めました。戦後部分はやや駆け足になりましたが、一応、最後までお話しはできました。

一番大きな収穫は、シニアの一般参加者からの質問でした。たしか黒船来航の背景として捕鯨業についてのご質問でしたか、その場で答えできずにちよつとふくれっ面に（私の方が）なってしまうたり、失地回復のため朝から東京女子大学の図書館に籠り、むきになって捕鯨史についての本を読み漁ったり、これまであまり経験したことのないフィードバックと勉強ができました。果ては界限の美しい寿司屋を教えて頂いたり、出不精な私を多摩方面の史料ツアーに連れ出して下さったり、今でも楽しい交流が続いています。

学生は苦戦したようです。今回確認できたのは、レジユメとパワポは違うということです。レジユメはそのままノートを取る補助になり、詳しいレジユメであればほぼノートそのものになってしまいます。

これに対し、パワポの提供は親切だと見なされており、レジユメが配られなくても文句がいえない雰囲気があります。しかし、実は学生は自力でノートは取らなければならない立場に戻っています。ノートが取れない、という苦情が来たのですが、レジユメを併せて配る、と

いうことはしませんでした。ノートを取る能力も鍛えるべきだ、と説明し、一度だけ、模範的ノートなるものを配布しました。

学生の皆様は、初回到潮のように来て、潮のように引いていきました。一般参加者との対話をこれだけ私が楽しんでいたので、学生にはご迷惑をおかけしたのかもしれない。しかし答案はなかなか上出来でした。鍛え果せたものと合点して、悦に入っております。

お声をかけて下さった平石直昭先生、親切なガイダンスをして下さった黒澤文貴先生、事務的にサポートするだけでなく学術的にも張り合いのある話し相手となり、出講の楽しみを増して下さった丸山センターの方々、事務対応の遅い私を辛抱強く見守って下さった東京女子大学の学生課の方々、皆様に深く御礼申し上げます。

東京女子大学 丸山眞男記念比較思想研究センター 公開授業

2016年度 受講者募集のご案内

東京女子大学では、丸山眞男並びに広く比較思想を講ずる科目として「比較思想」（半期完結）を設置しております。この科目は丸山眞男記念比較思想研究センターの企画により開講するものですが、2016年度は、前期に「比較思想」を開講し、学部学生と共に学外の方々にも公開いたします。下記の要領にて受講者を募集いたしますので、ご案内いたします。

○ 科目名：比較思想 近代日本外交：西洋と東アジア

講 師：^{い お き べ かおる}五百旗頭 薫氏（東京大学 教授）

東京大学法学部卒業、同学部助手・講師を経て東京都立大学助教授・首都大学東京准教授、東京大学社会科学研究所准教授を経て現職。専攻は日本政治外交史。著書『大隈重信と政党政治—複数政党制の起源 明治十四年—大正三年』（東京大学出版会、2003年）、『条約改正史——法権回復への展望とナショナリズム』（有斐閣、2010年）など。

○ 授業概要

戦後の日本外交は長い間、アメリカとの関係が圧倒的な比重を占めました。しかし冷戦後しばらくしてから、中国の台頭が顕著となり、ロシアもあらたなアクターとして復活しました。韓国との関係も、アメリカの東アジア戦略の中に位置づけて対処することが難しくなりました。

こうした多元的な関係は、むしろ戦前外交の中に経験の蓄積があり、成功からも失敗からも学ぶことができます。この講義では、19世紀半ばに西洋列強に対して開国してから、現代政治の骨組みができる戦後初期までを対象として、日本外交の歴史を概観します。

○ 教 材

教科書は特に指定しませんが、下記を読むと、復習や予習の役に立つと思います。

北岡伸一『日本政治史：外交と権力』（有斐閣、2011年）

期 間 2016 年 4 月 11 日（月）～7 月 18 日（月・祝）（全 14 回）
※5 月 2 日は本学臨時休講日のため休講です。
時 間 毎週 月曜日 5 時限目（16:35～18:05）
会 場 東京女子大学 （教室は初回当日正門付近の掲示板でご案内します）
対 象 原則として 18 歳以上の男女
定 員 30 名
受講料 10,000 円
テキスト代等は含みません。なお、一度納入された費用は返却いたしませんので、ご了承下さい。

【申込方法】 申込書にご記入の上、2016 年 3 月 14 日（月）までに丸山眞男記念比較思想研究センター宛にご郵送いただくか、電子メールにてご応募下さい（必着）。

【結果通知】 3 月 18 日（金）までに結果通知はがきをお送りいたします。申し込み多数の場合は、抽選の上受講者を決定いたしますので、あらかじめご了承下さい。

【受講手続】 受講を認められた方は、結果通知はがき所載の口座に受講料をお振込みの上、結果通知はがきを授業初日に会場にお持ち下さい。

【ホームページ】 <http://office.twcu.ac.jp/facilities/maruyama/index.html>

【その他】 授業の単位は認定されませんので、あらかじめご承知おき下さい。

送付・問合せ先： 〒167-8585 東京都杉並区善福寺 2-6-1
東京女子大学 丸山眞男記念比較思想研究センター
「公開授業」係
TEL：03-5382-6817
E-mail：marubun@lab.twcu.ac.jp
月～金・10 時～17 時（12:00～13:00 を除く）